付属品

箱の中には下記の付属品が入っていますのでお確かめください。

- ■ 保証書
- ■ サービス店名簿
- ■ 取扱説明書（本書）
- ■ 専用接続コード
- ■ 取付ネジ
- ■ エスカッション

保証書とアフターサービス

保証書について

●この製品には保証書が添付されています。

●所定事項の記入〈販売店印〉〈お買い上げ日〉および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	⇒	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	⇒	修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

●当社はカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。

●保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店もしくは添付サービス店名簿に記載されている最寄りのお店にお申しつけください。

三菱電機株式会社
〒100-8310
東京都千代田区丸の内2-2-3（三菱電機ビル）

05. 05 I.B N871L63203

MITSUBISHI

CD/MDセンターユニット

型名

MC-W500

取扱説明書

MDLP

●お買い上げいただきありがとうございます。
この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくため、ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときもう一度ご覧ください。きっとお役にたちます。

●ご使用になる前にまず「安全上のご注意とお願い」をよくお読みください。

ご使用のまえに

操作方法

接続／取り付け

その他

安全上のご注意とお願い

●ここに示しました注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は「警告」と「注意」の2つに区分しておりますが、それぞれの意味を下に示します。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
この表示記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを表わしています。

禁止　分解禁止　接触禁止
この表示記号は行為を禁止する内容を表わしています。

実行
この表示記号は行為を強制したり指示する内容を表わしています。

⚠警告

接触禁止

落雷に注意する
雷が鳴りだしたら、アンテナ線やオーディオなどに触れないでください。落雷による感電の危険性があります。

禁止

タコ足配線をしない
電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災の原因となります。

挿入口に異物を入れない
ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災の原因となります。

故障状態で使用しない
音が出ない、表示が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

24Vで使用しない
本機は、DC12Vマイナス⊖アース車専用です。24V車で使用しないでください。事故や火災などの原因となります。

⚠警告

禁止

異常が起きたら使用しない
万一、異物が入った・水がかかった・煙がでる・変な匂いがするなどの異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店またはサービス店名簿に記載されている最寄りのお店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

運転操作を妨げる場所に取り付けない
本機をステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因となります。

保安部品のボルトやナットは使用しない
車体のボルトやナットを使用してアースをとるときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のネジは使用しないでください。事故などの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしない
〈本機〉を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

指定以外のヒューズを使用しない
ヒューズを交換するときは、必ず指定のヒューズをご使用ください。指定以外のヒューズを使用すると、事故や火災の原因となります。

実行

取り付け、配線後の確認をする
取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や事故の原因となります。

コード類はまとめておく
コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

作業中はバッテリーのマイナス⊖端子を外す
ショート事故による感電やけがを防ぐためです。

⚠注意

⚠ 注意	**安全な音量で使用してください** 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。	
	手や指のはさみ込みに注意してください 〈ディスク挿入口〉に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。	
	コード類はシートなどにはさみ込まないようにしてください 車体やねじ部分・シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。	
禁止	**車載用として以外は使用しないでください** 感電やけがの原因となることがあります。	
	本機の通風孔や放熱板をふさがないでください 通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。	
実行	**必ず付属の部品を指定通り使用してください** 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。	
	指定された取付要領とおりに接続してください 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。	

使用上のご注意

取り付けに関して

●本機はDC12Vマイナスアース車用です。

●取り付けに際しては、「安全上のご注意とお願い」及び「取り付けかた」をよくお読みのうえ作業してください。

●ご自分での取り付けが困難な場合は、販売店またはカーディーラーにご相談ください。

本体のお手入れ

●やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固くしぼってからご使用ください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

CD（ディスク）のお手入れ

●演奏する前に、ホコリやゴミ、指紋など市販のクリーニングクロスでよく拭きとってください。
ディスクは内側から外側へ向かって拭いてください。

●ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー及びレンズクリーナーは使用しないでください。
また、静電防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

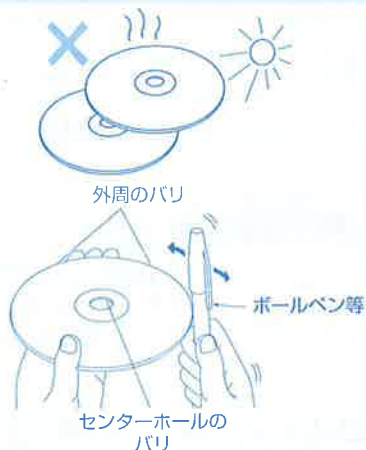
使用上のご注意

CD（ディスク）の取り扱いについて

●虹色に光っている面（印刷のない面）が記録面です。記録面に触れないように持ってください。またディスクには紙などを貼らないでください。

●真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

●新しいディスクを使用するときは、ディスクのセンターホールや外周部にバリが残っていないことを確認してください。バリが残っている場合には、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。 バリが残っているままご使用になると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因となります。

●ハート型や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

CD－R/CD－RWについて

●CD-R/CD-RWのレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。

●CD-R/CD-RWは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱く、一部のディスクは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷が付くと再生できない場合があります。
一部のCD-R/CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

●CDレコーダーで記録したCD-R/CD-RWは、その特性・傷・汚れなどにより再生できない場合があります。

●ご使用になるCD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理されたものに限ります。

規格外ディスクについて

●市販の音楽CDは COMPACT disc DIGITAL AUDIO ロゴの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

規格外のCDを使用された場合には再生や音質の保証は致しかねます。

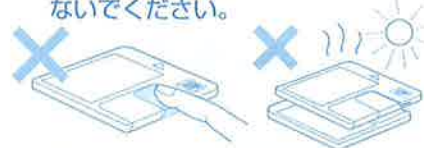
規格外のCDを再生した場合、下記の症状が発生することがあります。

（1）再生時に雑音が混入する。また場合により音飛びする。
（2）ディスクを認識せずエラーになる。
（3）1曲目を再生しない。
（4）頭出しに通常より時間がかかる。
（5）曲の途中から再生する。
（6）部分的に再生出来ない箇所がある。
（7）再生途中で操作できなくなる。
（8）誤表示する。

MD（ミニディスク）の取り扱いについて

●ミニディスク自体はカートリッジに収納されており、ゴミ等を気にせず手軽に取り扱えるようになっていますが、カートリッジの汚れやそり等により誤動作の原因となることがあります。
美しい音楽を楽しめるよう次のことにご注意ください。

◆シャッターを手であけないでください。

◆真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

●本機は音楽MDの再生専用です。データMDは使用できません。

●文字情報について
本機で表示できる文字はアルファベット、数字、カタカナで記録されているものに限ります。

こんなディスクの使用はおやめください

●次のようなディスクを使うと、本体内部にディスクが貼り付いて**本体自体の故障の原因**となったり、お客様の**大切なディスクにもダメージを与える**ことがあります。

CD の場合

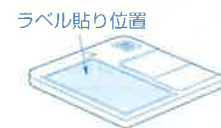
●CDに付着物が付いているものや、シールをはがしたあとにのりが付着しているCDはラベル面をきれいに拭き取ってからご使用ください。

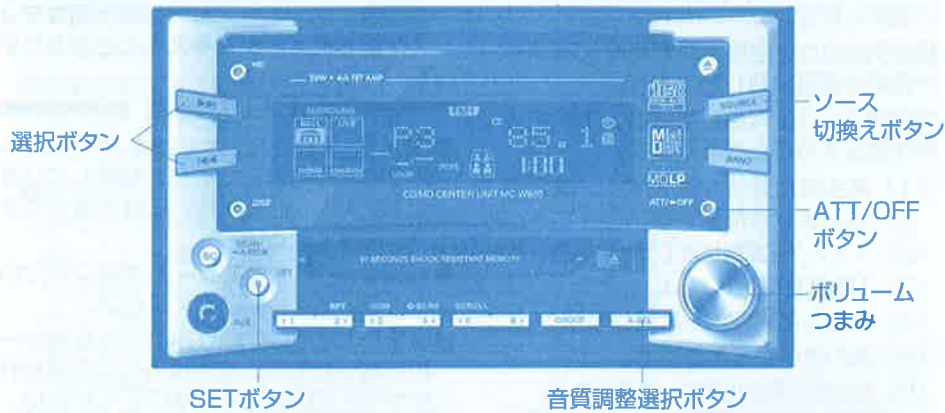
●レンタルCDなどでシールがめくれている CDは使用しないでください。

●お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの、またはラベルのはがれかかったCDは使用しないでください。
故障の原因となります。

MDの場合

●ラベルのはがれに注意してください。ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。故障の原因となります。

●ラベルを貼り付ける時は所定の位置に正しく貼り付けてください。ラベルの重ね貼りは行わないでください。

共通部の操作のしかた

●ボタン操作には「短押しと長押し」で2とおりの働きをするボタンがあります。
長押しの時は操作音が"ピピッ"と2回続けて鳴るまでボタンを押し続けてください。

パワー（電源）オン／オフとソース切り換え

»"ソース切換えボタン"を押す。

電源がオンになり、元に聞いていた状態を再生します。
押すごとに再生ソースが選択できます。

ラジオ → CD → MD → AUX →

●CD、MDが入っていないときは、CD、MDは選択されません。

»"ATT/OFFボタン"を長押しする。

電源がOFFになります。

音量を一時的に下げる

»"ATT/OFFボタン"を押す。

ATTを点滅表示し、音量が下がります。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

音量の調整をする

音量は"ボリュームつまみ"で調整してください。

音量の調整	左へ回すと音が小さくなります。	右へ回すと音が大きくなります。
VOL（音量）	最小 00 ←→	50 最大

音質の調整をする

音質調整選択ボタンを押すごとに音質調整モードが次のように切り換わります。
調整したいモードを選んで、"ボリュームつまみ"で調整してください。

音質の調整	左へ回すと		右へ回すと
BASS（低音）▼	-06 ←→ 減少	00	←→ +06 増大
TREBLE（高音）▼	-06 ←→ 減少	00	←→ +06 増大
BALANCE（バランス）▼	L06 ←→ 左側に移動	00 センター	←→ R06 右側に移動
FADER（フェーダー）	R06 ←→ リア側に移動	00 センター	←→ F06 フロント側に移動

●音量/音質調整モードで7秒間何も操作しない時は、元のモードに戻ります。

いろいろな音質の設定

SETボタンを押すごとに音質設定モードが次のように切り換わります。
設定したいモードを選んで、"ボリュームつまみ"で調整してください。

●いろいろな音質の設定で5秒間何も操作しない時は、元のモードに戻ります。

いろいろな設定のしかた

ここでは次のような項目を設定をすることができます。

時計設定	表示する時刻を設定します。
ラジオエリア	ご使用になる地域の放送局エリアに設定しておくと、ラジオ受信時に放送局名を表示します。
コントラスト	本機の取付け角度により、表示が見にくい場合に調整します。運転席から見やすいように設定してください。
タイトルスクロール	タイトル表示の自動スクロール機能のON.OFF設定を行います。
外部入力調整	接続した外部機器の音量を、本機側で微調整することができます。（AUX 1のみ）

設定をする

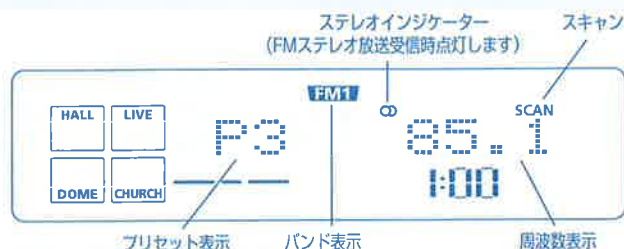
1. "SETボタン" を長押しし、いろいろな設定モードに入ります。
2. "選択ボタン" で設定モードを選びます。
3. "ボリュームつまみ" で調整してください。
4. 調整終了後は "SETボタン" を押すと設定完了です。

選択ボタンを押すごとに切り換わる

選択ボタンで選ぶ	ボリュームつまみで調整する
時計（時）	右に回すと時桁が進みます。左に回すと戻ります。 CLOCK HOUR 1
時計（分）	右に回すと分桁が進みます。左に回すと戻ります。 CLOCK MIN 00 ●時報合わせ 時桁、分桁を合わせたい時刻に調整し、時報に合わせて"SETボタン" を押すと、時報合わせができます。
RADIO AREA	NO AREA ホッカイドウートウホクーカントウーチュウブ オキナワーキュウシュウーシコクーチュウゴクーキンキ
CONTRAST	左に回すと 右に回すと CONTRAST 01 ⟷ 10
SCROLL	左に回すと 右に回すと SCROLL OFF ⟷ ON
AUX-1 GAIN	左に回すと 右に回すと GAIN 最小 00 ⟷ 05 最大

●時計調整以外は、15秒間何も操作しないで放置すると、元のモードに戻ります

ラジオ部の操作のしかた

表示の見方

ラジオを聞くには

1 "ソース切換えボタン" を押し、ラジオモード(TUNER)を選択する

2 "バンド切換えボタン" を押す。

FM1 ──→ FM2 ──→ AM1 ──→ AM2

押すごとに切り換わる

マニュアル/シーク選局する

≫ "チューニングボタン" で聞きたい放送局に合わせる。

"チューニングボタン ▶▶I "	高い方へ受信周波数が変わる。
"チューニングボタン I◀◀ "	低い方へ受信周波数が変わる。
"チューニングボタン" を長押し	シーク選局となり、自動的に放送局を受信すると停止する。

※AM選局時は車両のイルミネーション(ILL)スイッチに連動して自動的にストップ感度を下げて主に強い電波の放送局のみを受信するようになります。

スキャン選局する

≫ "スキャンボタン" を押す。

"プリセットボタン" にメモリーされている放送局を順次5秒間ずつ受信します。

(スキャン中はLCD表示部に "SCAN" が点灯します。)
希望局を受信中に再度 "スキャンボタン" を押すとその放送局の受信状態になります。

メモリーのしかた

●プリセットメモリー

希望の放送局を受信中に任意の "プリセットボタン" の長押しでプリセットメモリーができます。「ピピッ」という操作音でメモリー完了です。
また、"プリセットボタン" を短押しで予めメモリーされている周波数を呼び出せます。プリセットメモリーは各バンドごとに6局ずつメモリーできます。

●オートメモリー

"スキャンボタン" を長押しで、自動的に電波の強い放送局から順番にプリセットメモリーに最大6局までメモリーされます。
(オートメモリー中はLCD表示部に "A-MEM" が点滅します。)
この時、元のメモリーされていた周波数は書き換わってしまいますのでご注意ください。
オートメモリー動作終了後はプリセットボタン1にメモリーされた放送局の受信状態になります。

交通情報を聞く (ラジオ再生以外の時でも、使用できます)

≫ "交通情報ボタン" を押す。

このボタンを押すと交通情報が受信できます。チューニングボタンで1620kHz、1629kHzが選択できます。もう一度押すと元の再生モードに戻ります。
(パワーオフ時でも使用できます。)

ラジオエリア表示のしかた

いろいろな設定のしかた (P10) で、あらかじめ放送局エリアを設定しておくと、お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局を表示することができます。地域ごとの放送局名は、P32「放送局名一覧」をご覧ください。

≫ "ディスプレイボタン" を押す。

周波数と放送局名を切り換えます。

放送局名が登録されていない場合、いったん " ---------- " を表示後、周波数表示になります。

次ページにつづく

放送局名登録のしかた

! この操作は複雑です。安全のため走行中は絶対に操作を行わないでください。

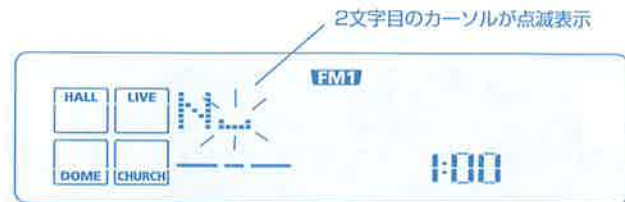
1 登録したい放送局を受信する。

2 ディスプレイボタンを長押しする。

3 ディスプレイボタンで文字の種類を選ぶ。

ディスプレイボタンを押すごとに入力文字が切り換わります。

カタカナ → 英大文字
↑　　　　　↓
数字 記号 ← 英小文字

4 ボリュームつまみで文字を選択し、チューニングボタンでカーソルを移動させます。この操作をくり返し、文字を入力していきます。

※文字入力の途中において15秒間放置した場合、確定されずに元の状態に戻ります。

5 入力完了後セットボタンで確定します。

●本機は32局分／最大10文字の放送局名を登録することができます。
32局以上入力しようとすると“FULL”が表示され、入力モードに入ることができません。
●全てスペース（空白）を入力すると名称削除となります。

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
ー	゜	゛	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

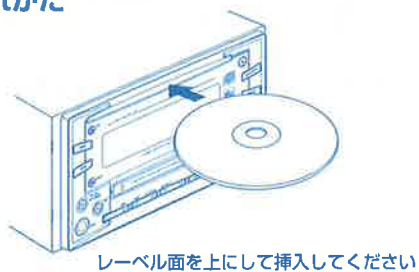
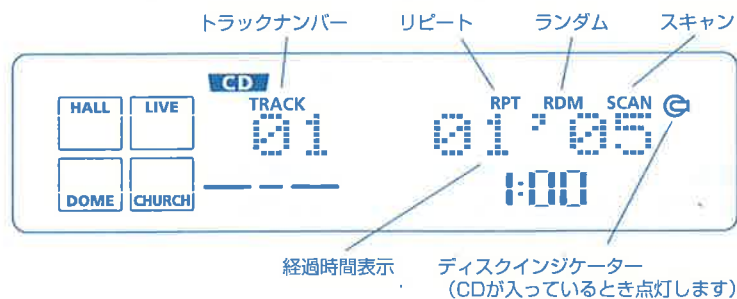
●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	'	(空白)					

●本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。
●入力した放送局名をお買い上げ時の放送局名に戻すときは、リセットボタン（P29参照）を押します。このあと電源を入れてから、時計の設定や放送局メモリーなどの設定をやり直してください。

操作方法

CD部の操作のしかた

CDの入れかた

表示の見方

CDを聞くには

》CDを挿入すると自動的に再生状態になる。

CDが本機内に装着されている場合は“ソース選択ボタン”を押し、CDを選ぶと再生します。

》CDを取り出す時は“イジェクトボタン”を押す。

再生中にイジェクトボタンを押すとディスクが排出されます。

》“トラック選択ボタン ▶▶I ”または I◀◀ を短押しするとそれぞれ「トラック送り／戻し」ができる。

▶▶I または I◀◀ を押し続けると押している間は曲の「早送り／早戻し」状態になります。

リピートやランダムプレイをするには

》CD再生中“プリセットボタン2(RPT)”を押す。

ボタンを押すとリピート(RPT)モードになります。
リピート(RPT)は、現在再生している曲(トラック)を繰り返し再生します。
再度押すと、解除します。

》CD再生中に“プリセットボタン3(RDM)”を押す。

ボタンを押すとランダム(RDM)プレイとなり、ディスク内の曲(トラック)をランダムに選び出し再生します。

再度押すと、解除します。

ランダムプレイは無作為に曲(トラック)を選択していきますが、同じ曲(トラック)を続けて再生することもあります。

次ページにつづく

スキャン選曲するには

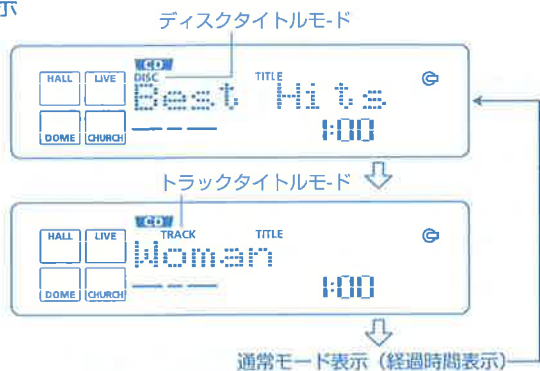
》"スキャン(SCAN)ボタン"を押す。

現在再生している曲(トラック)の次の曲(トラック)から、順次「曲(トラック)の始めの10秒間」ずつ再生します。聞きたい曲(トラック)の再生中に再度"スキャン(SCAN)ボタン"を押すと通常の再生状態になります。
またスキャンはディスク内のすべての曲(トラック)を一巡するとスキャンは解除し通常再生状態に戻ります。

CDテキスト表示切り換え

》CD再生中に"ディスプレイ(DISP)ボタン"を押す。

次のように表示が切り換わります。

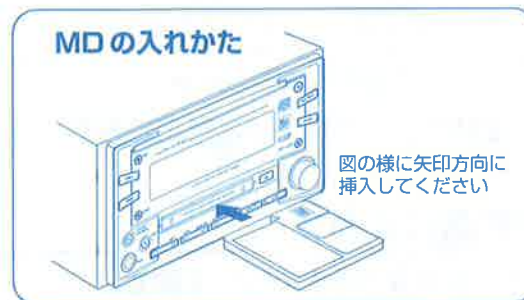
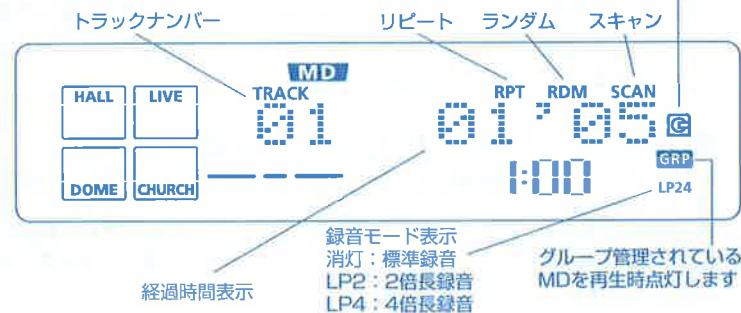
CDテキスト表示

●CDテキストの記録されていないCDを再生した場合はLCD表示部にいったん"NO TITLE" と表示します。
●一度に表示できる文字数は10文字です。文字数が多い場合は自動的に左方向へ文字がスクロールし、先頭から10文字の表示になります。
（P10のスクロール　ON/OFF 設定によります）
● "プリセットボタン5(SCRL)"を押すとスクロール表示ができます。

！タイトル表示操作は安全運転の妨げになりますので、安全を充分に確認したうえで操作を行ってください。

MD部の操作のしかた

表示の見方

次ページにつづく

操作方法

MDを聞くには

MDを挿入すると自動的に再生状態になる。

MDが本機内に装着されている場合は“ソース切換えボタン”を押し、MDを選びます。

“MDを取り出す時は“イジェクトボタン”を押す。

再生中にイジェクトボタンを押すと再生中のMDが排出され、表示部に“EJECT”と表示します。

“トラック選択ボタン ▶▶I ”または I◀◀ を短押しするとそれぞれ「トラック送り／戻し」ができる。

▶▶IまたはI◀◀を押し続けている間は、曲の「早送り/早戻し」状態になります。

●グループ管理されたMDを聞くには

本機はグループ管理されているMDを再生できます。
MDLPモードで録音して曲数が増えてしまった場合に、録音機側でアーティストやジャンルごとにグループ分けすることにより、選曲が簡単になります。

例えば、ジャンルごとにグループ分けしたMDの場合
（MD内に3グループ、40曲ある場合）

“グループボタン”を押すと、グループ選択ができる。

押すごとに次のグループの先頭曲にスキップします。

プレイモードを選択するには

MD再生中“プリセットボタン2(RPT)”を押す。

短押しでリピート、長押しでグループリピートのプレイモードが選択できます。

リピート（RPT）	現在再生している曲（トラック）を繰り返し再生
グループリピート（G-RPT）	現在再生しているグループ内の曲（トラック）のみを順次繰り返し再生

MD再生中“プリセットボタン3(RDM)”を押す。

短押しでランダム、長押しでグループランダムのプレイモードが選択できます。

ランダム（RDM）	ディスク内の曲（トラック）をランダムに選び出し再生
グループランダム（G-RDM）	現在再生しているグループ内の曲（トラック）のみをランダムに選び出し再生

ランダムは無作為に曲(トラック)を選択していきますが、同じ曲(トラック)を続けて再生することもあります。

●グループリピート・グループランダムは、グループ管理されている曲を再生時のみ選択可能です。

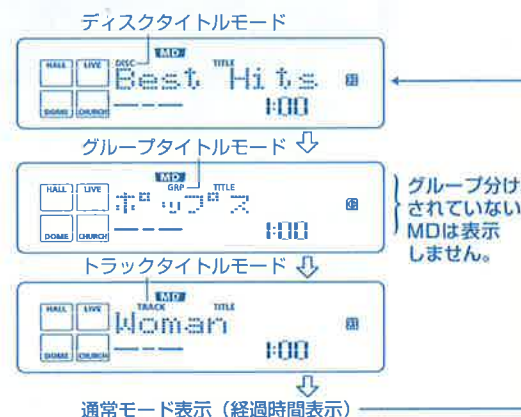
スキャン/グループスキャン選曲するには

“スキャン(SCAN)ボタン”/プリセットボタン4(G-SCAN)を押す。

スキャン（SCAN）	現在再生している曲（トラック）の次の曲（トラック）から順次「曲（トラック）の始めの10秒間」ずつ再生。 ・聞きたい曲（トラック）のところで再度“スキャンボタン”を押すと通常再生に戻る ・ディスク内の全ての曲（トラック）を一巡すると、スキャンは解除し通常再生に戻る
グループスキャン（G-SCAN）	現在再生している曲（トラック）の次のグループから順次「グループ内の先頭の曲（トラック）の始めの10秒間」ずつ再生。 ・聞きたいグループのところで再度“プリセットボタン4”を押すと通常再生に戻る ・ディスク内の全てのグループを一巡すると、グループスキャンは解除し通常再生に戻る

タイトル表示の切り換え

●MDの文字情報が表示できます。表示可能な文字種はアルファベット、数字、カタカナです。

●MD再生中に“ディスプレイボタン”を押すと次のように表示が切り換わります。

●文字情報の記録されていないMDを再生した場合はLCD表示部にいったん“NO TITLE” と表示します。

●一度に表示できる文字数は10文字です。文字数が多い場合は自動的に左方向へ文字がスクロールし、先頭から10文字の表示になります。

（P10のスクロール　ON/OFF 設定によります）

●“プリセットボタン5(SCRL)”を押すとスクロール表示ができます。

!タイトル表示操作は安全運転の妨げになりますので、安全を充分に確認したうえで操作を行ってください。

操作方法

他の機器の音声を聞く

！外部機器着脱の際は、本機の音量を絞ってください。
思わぬ大音量が流れ、事故の原因にもなります。

●フロントAUX端子を使って音声を聞くには

準備　フロントAUX端子にポータブル機器を接続します。

AUX端子にポータブル機器を接続します。
適合するプラグは、φ3.5ステレオミニプラグです。

1 ソース切換えボタンを押し、AUXに合わせる。

2 バンド切換えボタンを押し、AUX-1 INに合わせる。

3 接続した機器の演奏を始める。

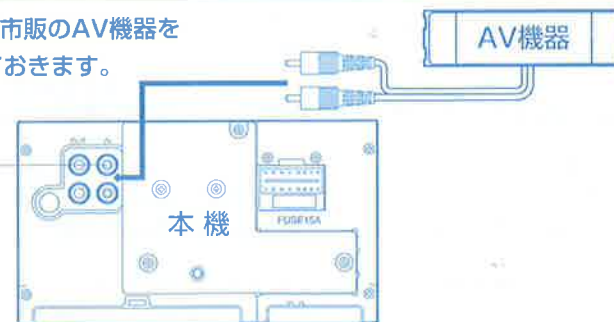
接続した機器に音量調節機能がある場合、FM放送時の音量と同程度に聞こえるように調節してください。

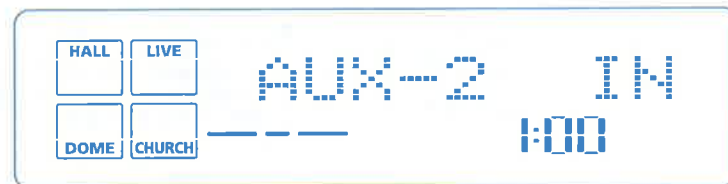
●FM放送の音量レベルと異なる場合は、10ページのAUX GAINで調節することができます。

！ポータブル機器の電源を、車両のシガーライターから取っている場合に、車両ノイズが混入する場合があります。このような場合は、電池駆動でご使用いただくか、後面のAUX IN端子側に接続してご使用ください。

●後面AUX IN端子を使って音声を聞くには

準備　後面AUX IN端子に市販のAV機器をあらかじめ接続しておきます。

市販のAV機器（ナビゲーション、テレビなど）を接続します。

1 ソース切換えボタンを押し、AUXに合わせる。

2 バンド切換えボタンを押し、AUX-2 INに合わせる。

3 接続した機器の演奏を始める。

接続した機器に音量調節機能がある場合、FM放送時の音量と同程度に聞こえるように調節してください。

●接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。

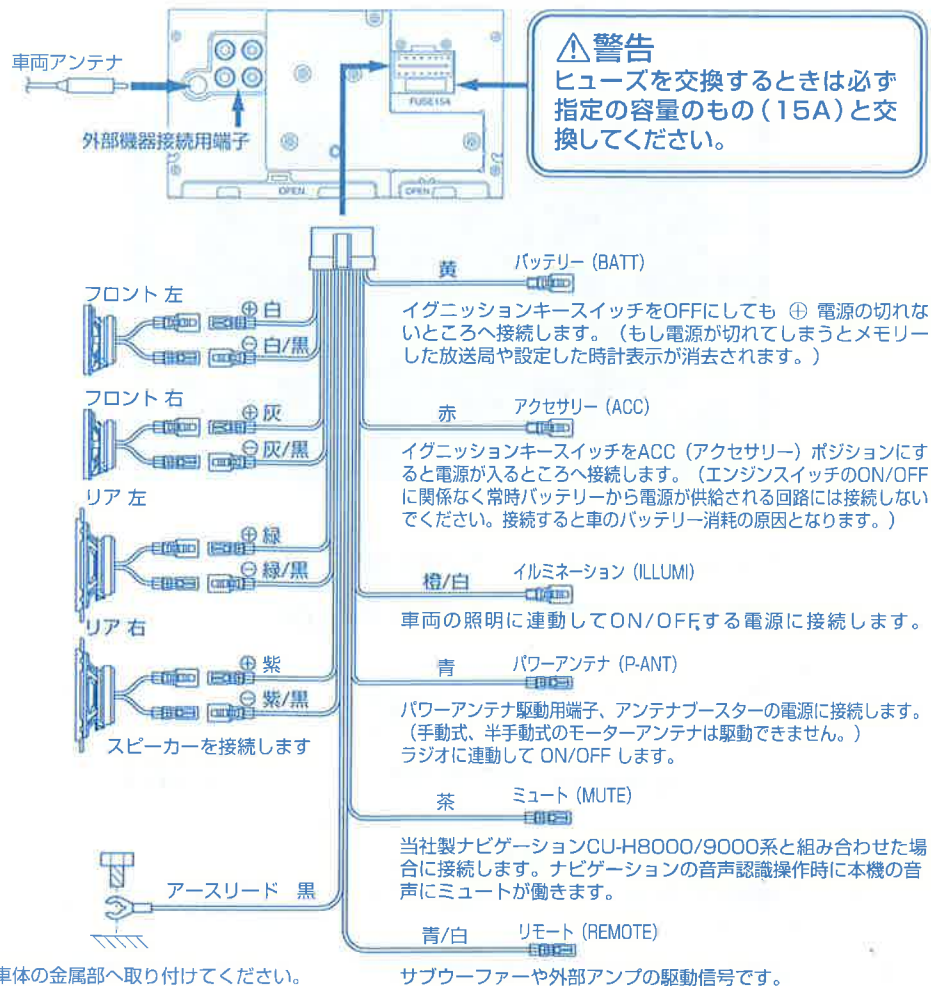
接続のしかた

⚠警告

◆ショート事故防止のためバッテリーのマイナス端子を外す。
◆左右や前後のスピーカー端子を共通にして接続しない。火災の原因となります。

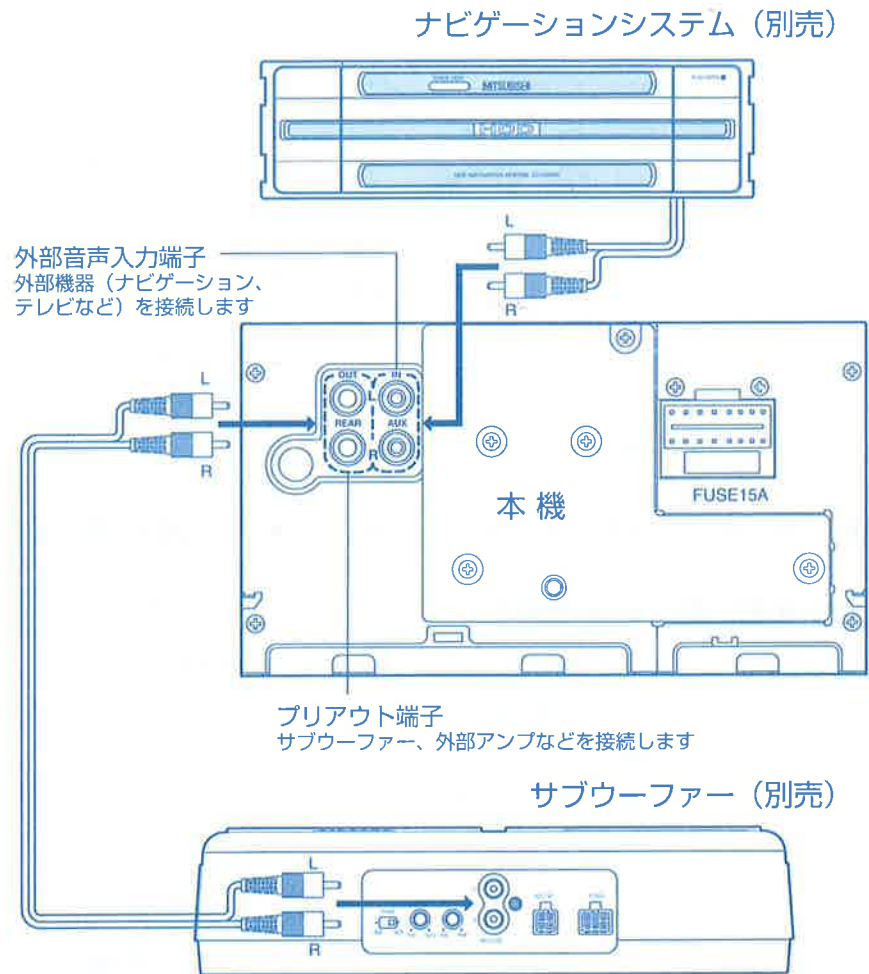
⚠注意

◆接続時は必ずエンジンを止めキーを抜いた状態で行ってください。
◆余った線は取付け時、車体へのかみこみを防ぐためビニールテープなどで束ねてください。

⚠警告
ヒューズを交換するときは必ず指定の容量のもの（15A）と交換してください。

アクセサリー（ACC）電源リード線（赤）とバッテリー（BATT）電源リード線（黄）は必ず指定の場所に接続し、同じところへまとめて接続しないでください。

システム例

●本機の外部音声入力端子にナビゲーション、プリアウト端子にサブウーファーシステムを接続する場合を示しています。
接続機器の電源等の配線は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

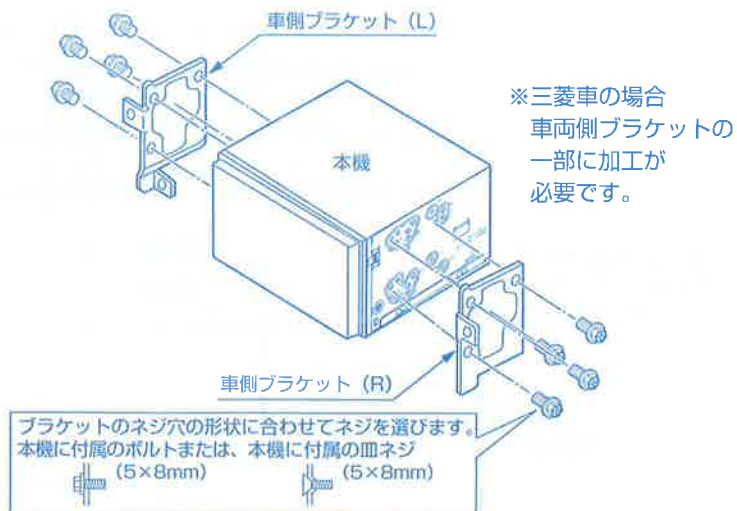
接続／取り付け

取り付けかた

取り付け例

トヨタ・日産・三菱車に取り付ける場合

●既設の車側ブラケットを用いて取り付けます。
年式、車種、グレードにより、専用取り付けキット（市販の取付けキット）が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。

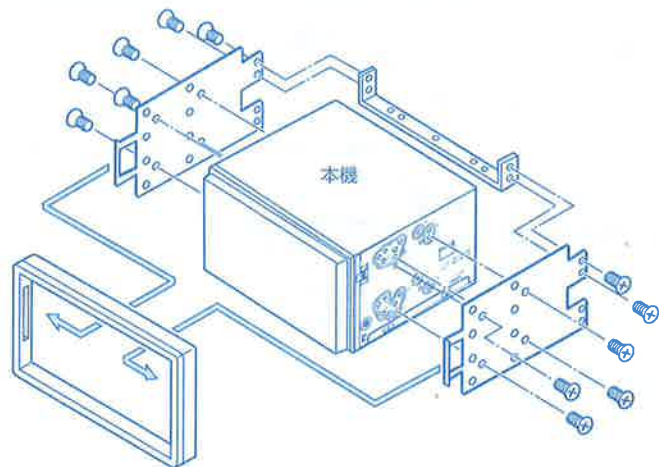
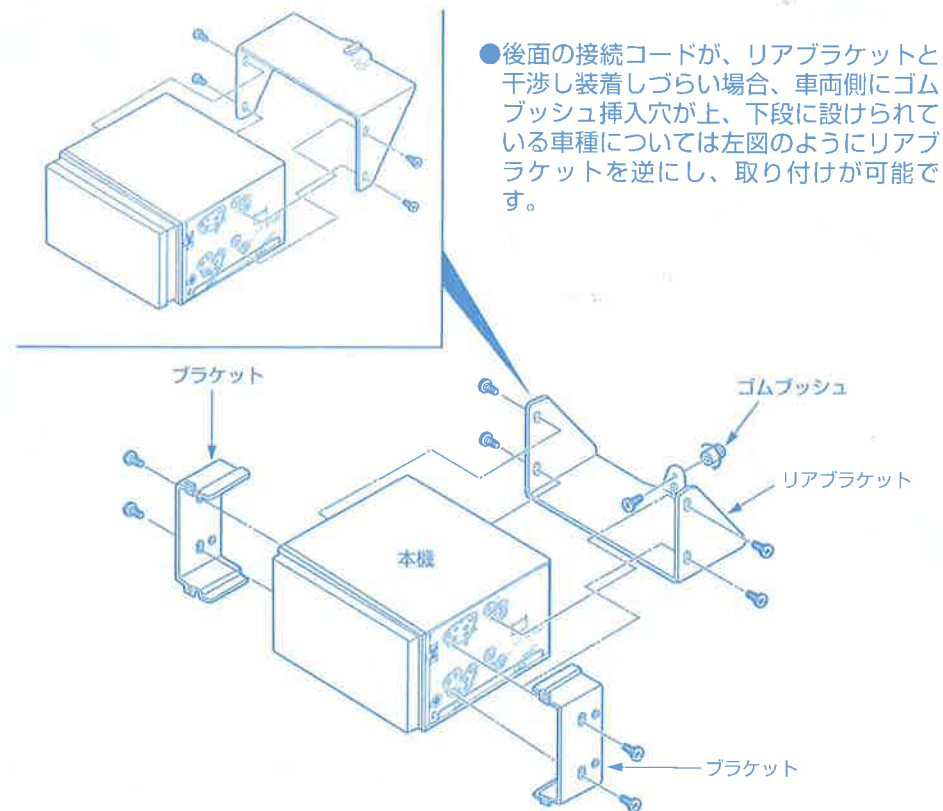
※三菱車の場合
車両側ブラケットの一部に加工が必要です。

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。
本機に付属のボルトまたは、本機に付属の皿ネジ
（5×8mm）　（5×8mm）

●取付後、車両との隙間が生じる場合は、付属のエスカッションにて目隠ししてください。

ホンダ車に取り付ける場合

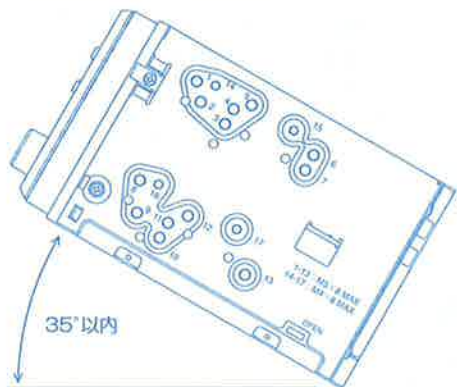
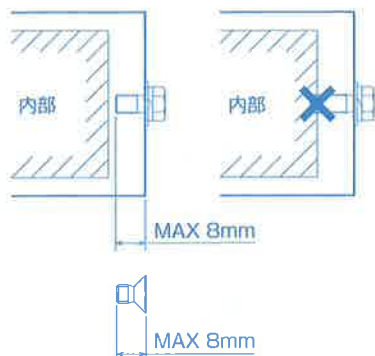
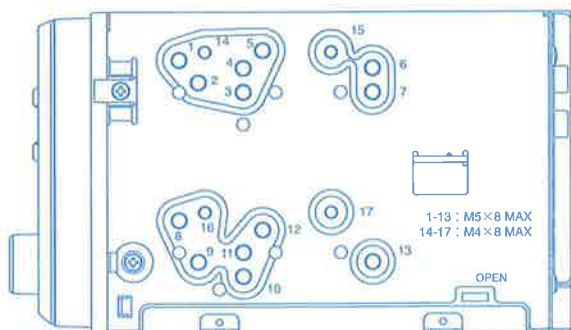
●標準取付キット（市販の取付けキット）を用いて取り付けます。

マツダ車に取り付ける場合

●標準取付キット（市販の取付けキット）を用いて取り付けます。

●後面の接続コードが、リアブラケットと干渉し装着しづらい場合、車両側にゴムブッシュ挿入穴が上、下段に設けられている車種については左図のようにリアブラケットを逆にし、取り付けが可能です。

取り付けかた

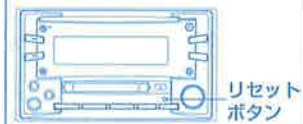
取り付け上のご注意

- 本機は水平〜35°の範囲内で取り付けてください。（下図参照）
  取り付け角度が35°以上になると、音飛びの原因となりますので、あらかじめ取り付けになる車両の取り付け角度を確認してください。

35°以内

- 取り付けには、必ず付属のネジを正しくご使用ください。

取り付けネジ穴

車メーカー	記号
トヨタ	1、3、7、8、11
日産	2、5、9、12、13

故障かな？と思ったら

下記に示します処理を行っても症状が直らないときは、配線や本体に異常が発生している可能性があります。お買い上げ店またはサービス店名簿に記載のお店にご相談ください。

	症　状	原　因	処　理
共通部	電源が入らない。動作しない。	接続コードが外れている。	各リード線のギボシ端子の接続を確認してください。
	特定のチャンネルの音が出ない。	スピーカ接続が外れている。	スピーカリードの接続を確認してください。
		フェーダーやバランスが偏った調整になっている。	設定を確認してください。
	・表示が出ない ・ボタンの操作ができない。	雑音などの影響で、内蔵のマイコンが誤動作している可能性がある。	ボールペンの先などでリセットボタンを押してください。 ・工場出荷時の状態に戻ります。 ・時刻、プリセットメモリーなどが消去されますので再設定してください。 リセットボタン

	症　状	原　因	処　理
CD/MD部	・CDが入らない。 ・MDが入らない。	ディスクインジケーターが点灯している。	ディスクを取り出してください。
		ディスクインジケーターが点灯していない。	いったん、イジェクトボタンを押してください。
	音が飛ぶ。	取付け角度が35度以上になっている。	取付け角度を確認ください。
	同じ箇所で音が飛ぶ。	ディスクに傷、汚れなどがついている。	ディスクをお確かめください。
	ディスクを入れても音が出ない。	ディスクの傷、汚れなどのためデータが読み込めない。	ディスクをお確かめください。なお、CD-R/RWをご使用の場合はディスクの特性により再生できない場合があります。

	症　状	原　因	処　理
ラジオ部	受信できない。	アンテナが伸びていない。	手動式の場合はアンテナを伸ばしてください。パワーアンテナの場合はアンテナ電源接続を確認してください。
	シーク選局で放送局が受信できない。	放送局の電波が弱くストップしない。	マニュアルで選局してください。

故障かな？と思ったら

CD／MDのエラー表示について

表示	内容
FOCUS ERR	フォーカスエラー(TOC情報読取不可)
READ ERR	傷、汚れなどによる読み取り不可
M-ERR	ローディング、イジェクト異常 ピックアップ位置異常
ERR	電源系異常、 内部通信異常、その他異常

●CD、MDのキズ、汚れの程度によりすぐにエラーメッセージが出ない場合があります。ディスクを挿入してもなかなか音が出ない時はCD、MDのキズ、汚れが原因と思われますので他のディスクと交換してください。

主な仕様

〈CD部〉

周波数特性	5～20,000Hz
高調波歪率	0.005%（1kHz 0dB）
SN比	96dB
ワウ・フラッター	測定限界以下

〈MD部〉

周波数特性	5～20,000Hz
高調波歪率	0.008%（1kHz 0dB）
SN比	90dB
ワウ・フラッター	測定限界以下

〈ラジオ部〉

受信周波数帯域	FM 76.0～90.0MHz AM 522～1,629kHz
実用感度	FM 10dBf 0.9μV/75Ω AM 28dBμ
SN比	FM 70dB IHF-A AM 50dB
選択度	FM 70dB AM 70dB
ステレオセパレーション	FM 40dB（1kHz）

〈アンプ部〉

最大出力	50W×4
音質調整	低音 ±12dB（100Hz） 高音 ±12dB（10kHz）
ラインアウト	2.0V（出力インピーダンス 1kΩ）
AUX入力	最大2.0V（入力インピーダンス 10kΩ）

〈電源部〉

電源電圧	DC14.4V（10.8V～15.6V使用可）
最大消費電流	10A

〈寸法・質量〉

外形寸法	178（W）×100（H）×150（D）mm
質量	2.0kg

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
※本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

放送局名一覧

地方	放送局名	場所	周波数
北海道（FM）	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
	〃	帯広	87.5MHz
	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	釧路	88.5MHz
北海道（AM）	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	〃	札幌	1,287kHz
	〃	稚内	1,368kHz
	〃	釧路	1,404kHz
	STVラジオ	札幌	1,440kHz
	HBCラジオ	網走	1,449kHz
	NHK第2	函館	1,467kHz
	HBCラジオ	名寄	1,494kHz
	NHK第2	旭川	1,602kHz

地方	放送局名	場所	周波数
東北地方（FM）	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	DateFM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
東北地方（AM）	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
	NHK第2	仙台	1,089kHz
	青森放送	青森	1,233kHz
	東北放送	仙台	1,260kHz
	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	MHK第2	福島	1,602kHz
関東地方（FM）	インターFM	東京	76.1MHz
	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	東京	77.1MHz
	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	三ッ峠	78.6MHz
	放送大学	前橋	78.8MHz
	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	千葉	80.7MHz

●漢字の放送局名は、カナ表示となります。
また、表に記載の放送局名と本機での表示内容が一部異なる場合があります。

地方	放送局名	場所	周波数
関東地方（FM）	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	横浜	81.9MHz
	〃	東京	82.5MHz
	〃	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
	FM群馬	前橋	86.3MHz
関東地方（AM）	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	〃	693kHz
	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	〃	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方（FM）	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	金沢	82.2MHz
	〃	新潟	82.3MHz
	〃	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	岐阜	83.6MHz
	〃	長野	84.0MHz
	〃	甲府	85.6MHz
	〃	静岡	88.8MHz

地方	放送局名	場所	周波数
中部地方（AM）	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	〃	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
	NHK第1	福井	927kHz
	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	〃	福井	1,521kHz
	〃	新潟	1,539kHz
	〃	甲府	1,602kHz
近畿地方（FM）	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5kHz
	E-Redio	滋賀	77.0kHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6kHz
	FM三重	津	78.9kHz
	FM802	大阪	80.2kHz
	NHK-FM	津	81.8kHz
	〃	京都	82.8kHz
	〃	大津	84.0kHz
	〃	和歌山	84.7kHz
	fm osaka	大阪	85.1kHz
	NHK-FM	神戸	86.5kHz
	〃	奈良	87.4kHz
	〃	大阪	88.1kHz
	α-STATION	京都	89.4kHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9kHz

地方	放送局名	場所	周波数
近畿地方（AM）	ラジオ関西	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	〃	828kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz
	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
中国地方（FM）	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島FM	広島	78.2MHz
	FM山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	山口	85.3MHz
	〃	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz
	〃	岡山	88.7MHz
中国地方（AM）	NHK第1	〃	603kHz
	〃	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	周南	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
	〃	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	山口	1,377kHz
	〃	岡山	1,386kHz
	山陰放送	〃	1,494kHz
	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	松江	1,593kHz
四国地方（FM）	FM香川	高松	78.6MHz
	FM愛媛	松山	79.7MHz
	FM徳島	徳島	80.7MHz
	FM高知	高知	81.6MHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz

地方	放送局名	場所	周波数
四国（FM）	NHK-FM	高松	86.0MHz
	〃	高知	87.5MHz
	〃	松山	87.7MHz
四国地方（AM）	高知放送	高知	900kHz
	NHK第1	徳島	945kHz
	〃	松山	963kHz
	〃	高知	990kHz
	NHK第2	高松	1,035kHz
	南海放送	松山	1,116kHz
	NHK第2	高知	1,152kHz
	四国放送	徳島	1,269kHz
	NHK第1	高松	1,368kHz
	西日本放送	〃	1,449kHz
	NHK第2	松山	1,512kHz
九州地方（FM）	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	長崎	84.5MHz
	〃	福岡	84.8MHz
	〃	熊本	85.4MHz
	〃	鹿児島	85.6MHz
	〃	北九州	85.7MHz
	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	大分	88.0MHz
	NHK-FM	〃	88.9MHz
九州地方（AM）	NHK-第1	宮崎	540kHz
	〃	鹿児島	576kHz
	〃	福岡	612kHz
	〃	大分	639kHz
	〃	長崎	684kHz
	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	〃	873kHz

地方	放送局名	場所	周波数
九州地方（AM）	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	隼人	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	〃	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	大分	1,467kHz
	〃	宮崎	1,467kHz
	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄（FM）	FM沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN沖縄	〃	89.1MHz
沖縄（AM）	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	〃	864kHz
	NHK第2	〃	1,125kHz